

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06150470 A

(43) Date of publication of application: 31.05.94

(51) Int. Cl

G11B 15/60

(21) Application number: 04299971

(71) Applicant: SONY CORP.

(22) Date of filing: 10.11.92

(72) Inventor: INOMATA NAOKI
SHIRASU TOSHIYUKI

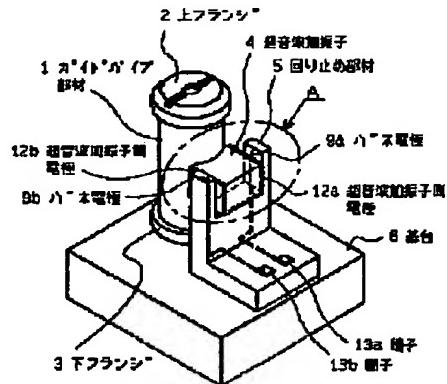
(54) TAPE GUIDE DEVICE

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To automate assembling process to extremely facilitate maintenance and then to reduce the cost of the device by electrically connecting an electrode of a ultrasonic oscillator with an electrode of a turn stopping member when the ultrasonic oscillator is held by the turn stopping member, thereby simplifying the assembling process of the device.

CONSTITUTION: The device possesses a guide pipe member 1 for guiding a tape, the ultrasonic oscillator 4 having one end surface as a free end and the other end surface fixed to the guide pipe member 1, to be oscillated by an ultrasonic wave and the turn stopping member 5 for preventing the guide member 1 fixed with this ultrasonic oscillator 4 from rotating by holding the ultrasonic oscillator 4. Then, the turn stopping member 5 is provided with spring electrodes 9a and 9b for electrification, and when the ultrasonic oscillator 4 is held by the turn stopping member 5, electrodes 12a and 12b of the ultrasonic oscillator 4 and the electrodes 9a and 9b of the turn stopping member 5 are electrically connected up.



⑫ 公開特許公報 (A) 昭61-50470

⑬ Int.CI.
H 04 N 5/44

識別記号

厅内整理番号
D-7423-5C

⑭ 公開 昭和61年(1986)3月12日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全9頁)

⑮ 発明の名称 テレビジョン受像機の番組予約装置

⑯ 特 願 昭59-172138

⑰ 出 願 昭59(1984)8月18日

⑱ 発明者 西村 有年 大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内
 ⑲ 出願人 シャープ株式会社 大阪市阿倍野区長池町22番22号
 ⑳ 代理人 弁理士 福士 愛彦 外2名

明細書

1. 発明の名称

テレビジョン受像機の番組予約装置

2. 特許請求の範囲

1. ブラウン管画面上に番組予約内容を表示するテレビジョン受像機において、番組予約内容をブラウン管画面上に表示するための表示出力制御回路と番組予約内容の表示画面部分に複数の背景画像を供給する背景画像供給手段とを備え、番組予約入力の状態に応じて、背景画像を第1状態と第2状態に背景画像を変えることを特徴とするテレビジョン受像機の番組予約装置。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は、テレビジョン受像機の番組予約に関するもので、ブラウン管画面上に予約内容の表示を行うものである。(オンスクリーン方式と言われる)

さらに、VTRの普及に伴い複雑な予約内容を簡単に入力したり確認したりできる装置に関するものである。

(従来技術)

最近、この種の表示が多くなってきてはいるが、その操作方法/表示が複雑化しておりユーザーにとっては非常に使いにくい機能になりつつある。一例としては、

- ① 時刻やチャンネル番号を入力すべき直面上の個々の場所にカーソル等で案内する方式のものは、入力すべき情報が多くなると、日付、時刻、チャンネル番号、オンタイマ/オフタイマの別等の一連の情報が間違づけてチェックしにくくなる。

- ② 予約入力完了時や入力すみの場合に、直面上の特定位置に「予約完了」等の表示を行うものは、直面スペースの割約から文字の大きさをそれほど大きくできないことで、構造しにくく、かつ、デザイン的にも余り好みしいものではなかった。

(目 的)

本発明は、上記欠点を除去するものであり、例えば、日付、時刻、チャンネル番号、オンタイマー/オフタイマ等の一連情報を1プログラムとしてまとめて入力指示するために、1プログラム全体を縦長いカーソルで示し、1プログラムの入力が終われば次のプログラムのある行へとカーソルを改行したり、また、入力中には背景画像を青一色にし予約完了時には青のストライプ模様にして見易い表示にする等の新規な機能を持った番組予約装置を提供するものである。

(実施例)

第1図に基いて本システムの概略説明を行う。放送局からのテレビ電波をアンテナから入力してテレビ信号受像回路6で受信処理し、この処理信号をテレビ信号出力回路5にてさらにR,G,Bの原色信号として信号ミキシング回路2へ供給する。

この信号ミキシング回路には、表示出力制御回路1から番組予約内容を表示するための信号が供

給される。該表示信号は、コントロール部9中の水平表示位置制御装置16と垂直表示位置制御装置によりその表示位置が決められる。

表示位置等の可変については、リモコン送信機からの各種コントロール/データ信号に基いて行われる。データインターフェース回路11を介在して、外部データRAM10から得られる表示文字/表示图形のデータがデコーダ回路12、表示データRAM8に転送される。

該表示データRAM8からは、

①番組予約表示で使用される色データ信号を表示出力制御回路1へ、また

②番組予約表示に使用される文字および背景キャラクタの呼び出し信号をキャラクタジェネレータ7へ、

とそれぞれ供給する。

そして、文字キャラクタは、シフトレジスタ4に水平1行分が入力され、番組予約を開始すると当該文字キャラクタがシリアル信号に変換されて表示出力制御回路1に印加される。

さらに、クロック発生器14、メロディ発生器15により、番組予約のタイマ動作終了時間等の報知を音声により行う。

以下、他の図面とともに本発明の実施例につき説明をする。

<文字表示部の背景色発生装置実施例>

ディスプレイ上の文字および图形は、プログラム可能な水平表示位置制御装置16と、垂直表示位置制御装置17によって1ドットおよび1ラインごとに自由に指定し表示することが可能である。

一度に表示可能なディスプレイ上の配列は第2図に示すように水平21文字分と垂直6行分を表示できる。

個々の行は独立していて先頭文字の表示位置を指定することによって、直面上の自由な位置へ移動することが可能である。(第3図)

1文字のドット構成は、第4図に示すように12ドット×12ドットになっていて上下および左

右の間隔についても個々にプログラムカウンタが対置されていて自由に指定することができる。

前記表示位置の指定は、プログラム可能な水平表示位置制御装置16とプログラム可能な垂直表示位置制御装置17によってなされ、垂直同期パルスで垂直表示位置制御装置17をリセットしその時点より水平パルス数をカウントすることで垂直位置が決定され、水平パルスによって水平表示位置制御装置16をリセットしクロックパルスをカウントすることによって水平方向の位置を決定する。(第3図)

該クロックパルスは、文字構成の水平1ドットを表わすパルスと同期し、かつ、比例関係にある周波数である。上記のように表示位置枠が決められていることによって、表示すべき文字等のデータはそれぞれの表示位置と個々に対応しており、「表示文字の種類、文字の色指定、表示部分の背景色指定、表示文字サイズ」等の要素を含んでいる。

文字および图形の表示方法は、前記文字データによってキャラクタジェネレータ7より順次呼

び出されることによって行われるが、前記データは外部データRAM10(ランダムアクセスノモリ)に記録されている。

呼び出しのシステムは前記水平/垂直表示位置制御装置16、17からの位置データ(メモリアドレスデータ)をコントロールデータバスを介してデコーダ回路12およびデータインターフェイス回路11に供給する。そして、外部データRAM10より呼び出された表示用のデータは、データインターフェイス回路11、デコーダ回路12より表示データRAM8に転送される。

このデータ転送は、文字表示と同一時間に行う必要はなく、表示以前の適当な空き時間に行っていい。

前記文字呼び出しアドレス信号にて順次出力された文字キャラクタは、シフトレジスタ4に水平ライン1行分が入力されて更に、水平/垂直表示位置制御装置16、17より表示開始信号が入力されると文字信号がシリアル信号に変換され表示出力制御回路1に入力される。

前記表示出力制御回路1は、「背景色データ、文字の色指定データ」によって文字信号に背景色および文字の色データに応じR、G、B出力を個々にコントロールして表示文字の着色を可能とする。

前記R、G、B出力信号は信号ミキシング回路2でテレビ信号と混合され映像出力回路3へ供給して、ブラウン管画面上にディスプレイされる。

第5図は、表示出力制御回路を具体的に示した図である。

この制御回路にて文字キャラクタ、背景色用キャラクタ、文字の色データ、背景色データの合意を行い、第7図に示されるような完成された文字がブラウン管画面上に映出される。

第6図は文字色データ、背景色データの色指定レジスタ真理値を示した表である。

第7図は、前記表示出力制御回路1の入出力の関係を①图形と②電気信号について一し箇の水平ライン1本分に注目して述べている。この方法によれば背景色用キャラクタを種々設けておくことにより多様な表示が可能となる。

本発明のシステムは第9図に示すように、(A)は、背景色を一色とするキャラクタ、(B)は、背景模様を横線とするキャラクタ、(C)は、背景色/背景模様がないブランクキャラクタ、(D)は、背景模様を縦線とするキャラクタで以上4種類のキャラクタを持っている。

上記4種類の使い分けは、本システムの特徴機能であるタイマ予約機能の「タイマ予約中モード」と「タイマ予約内容確認中」を見分けるために使用している。

例えば、第9図に示すようにタイマ予約中は予約中の1行全てを1色表示とし、タイマ予約内容確認の時は全ての行を横線背景とすることが特徴となっている。

〈背景色による改行機能〉

前記背景色の合意システムにおいて、背景色キャラクタ呼び出しタイミングを、垂直表示位置制御装置17を構成する。背景色キャラクタ用プログラムブルカウンタのカウントダウン数データを変更し、表示位置を変え改行するものである。

この一連の動作は、データインターフェース回路11より入力された背景色表示位置変更データがデコーダ回路12を経て、コントロール部14に入り、垂直位置プログラムカウンタのカウントダウン数を、現状は、12カウント増加するデータに変える、すると水平ライン本数で12本増加した位置より、背景をつけることとなるために実質1行分下へづれる。したがって表示面では改行として見ることができる。さらに、12カウント増加すると3行目に背景が移動する。

次に、同一の動作を実行すると、前記一連のカウント数をもとの1行目表示のカウント数に戻す。このようにカウンタのデータ変更により、タイマ予約入力中の行と同期して背景による改行表示動作を可能とする機能を有している。

上記改行システムは、プログラムブルカウンタによる方法であるが、他に表示位置を固定したカウンタを必要な数並べ個々にオン/オフ動作を行うことによっても実施可能である。

<短時間タイマ機能>

短時間タイマを120分に設定した場合について、第10図に基いて説明する。

始めに、プリセット型カウンタ20の初期値を12に設定し、短時間タイマを動作させると、10分間基準タイマ19は基準クロック発生器14からの基準パルスを所定回数受け、10分経過することに該カウンタ20にパルスを供給し、これにより-1のカウント動作を行うとともに比較器18を通じてカウント信号をコントロール部9に供給する。該コントロール部9は該カウント信号と水平パルスおよび垂直パルスを受け、短時間タイマの残り時間に対応してワイングラス状のキャラクタの中に略台形状に黄色の12本のバーを映出し、これを順次1本ずつシアン色に変化させていくことで残り時間の表示を行う。

この手順をさらに詳細に説明すると、該キャラクタを表示するため、表示データRAM18に水平表示位置制御回路16および垂直表示位置制御回路17を介して残り時間表示キャラクタの表示

位置アドレスおよび色切り換えデータを供給する。これを受けた該表示データRAM8はキャラクタジェネレータ7にキャラクタコードを転送するとともに、表示出力制御回路1に色切り換えデータも転送する。該キャラクタジェネレータ7は表示キャラクタデータをソフトレジスタ4に送出し、該レジスタ4は該表示出力制御回路1に表示信号を送出する。

この表示出力制御回路1は前記表示信号と前記色切り換えデータとからRGB信号を得、これを信号ミキシング回路2に送出し、映像出力回路3を介してディスプレイ手段に表示信号を供給する。これにより、ディスプレイには短時間タイマの残り時間に対応して、例えば設定時間が120分の場合にはワイングラス状のキャラクタ中に当初略台形状の残り時間表示キャラクタを黄色で表示し、タイマ経過時間に対応して10分間刻みでワイングラス状キャラクタ中の残り時間表示キャラクタを上部からシアン色に変更していくことにより残り時間を告知せしめ、この動作を該カウンタがゼ

ロになるまで繰り返す。

また、該カウンタ20がゼロになるとコントロール部9はメロディ発生器15にコントロールデータを供給し、該メロディ発生器15から音声を発生する。これにより短時間タイマの動作終了を告知せしめる。

<タイマ動作終了時のメロディ発生実施例>

メロディ選択手段21を操作すると、選択されたメロディに対応したキャラクタコード信号とメロディ選択信号とが発生する。

キャラクタコード信号は外部データRAM10に、メロディ選択信号はメロディ発生器15に送られる。外部データRAM10にはキャラクタコードが記憶される。

特定のメロディは、メロディ発生器15の中から選択信号により選択される。

タイマ動作終了時間になると、コントロール部9で設定時間レジスタ22と基準タイマ23の内容が一致したことを比較器24により検出し、タ

イマ終了信号を出し、メロディ発生器15にスタート入力として供給される。

そして、メロディ信号が音声出力回路へ送られて選択されたメロディが発声され、その後一定時間経過した後に停止する。

(効果)

以上述べた通り、本発明では、日付、時刻、チャネル番号、オンタイマ/オフタイマ等の一連情報を1プログラムとし、その1プログラム全体を細長いカーソルで示し、1プログラム単位の入力が終われば次のプログラムのある行へとカーソルを改行したり、また、入力中には背景画像を青一色にし予約完了時には青のストライプ模様にして見易い表示にする等の新規な機能を持った各種予約装置であり、ユーザーにとっては操作しやすく状態確認が容易にできる。

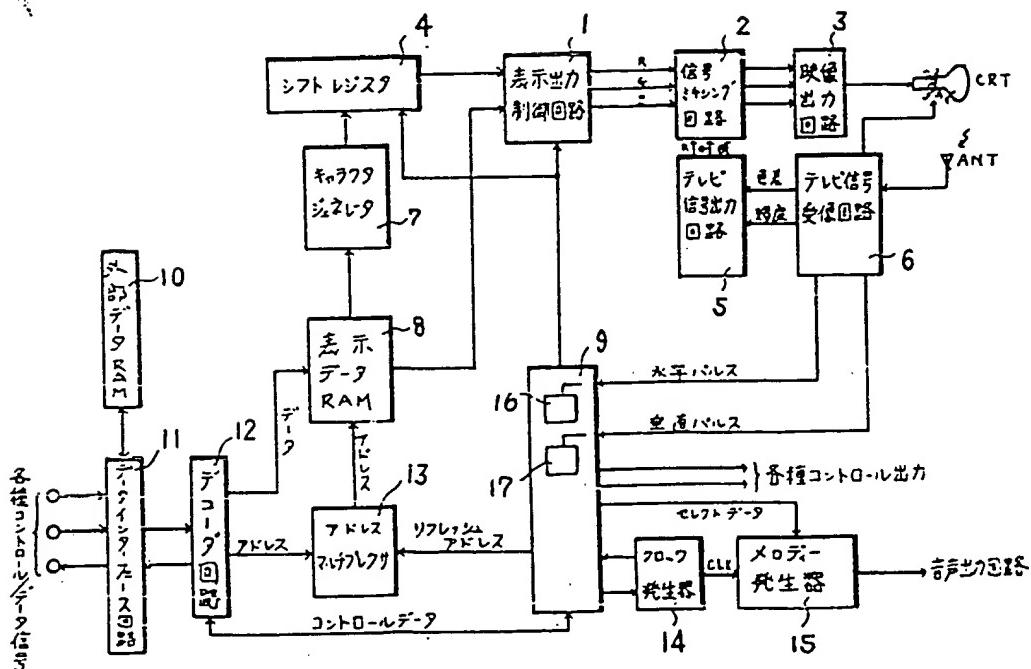
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の全体システムを示すブロック

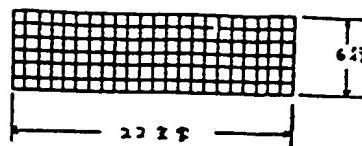
第2図、第3図は各組予約内容が表示される1行分のスペースを示す平面図、第4図は各組予約内容が表示される2行分のスペースを示す平面図、第5図は表示文字のドット数を示す平面図、第6図は表示出力翻訳回路のロジック図、第7図(A)は表示文字、(B)は表示文字に対応する音量部分、(C)は表示文字と背景模様を重畠した図、(D)は(A)～(C)の各波形図を示す。第8図(A)は背景色を一色とするキャラクタ図、(B)は背景模様を横線とするキャラクタ図、(C)は背景色／背景模様なしのブランクキャラクタ図、(D)は背景模様を縦線模様とするキャラクタ図である。第9図(A)は1行分の背景画像が重畠されている図、(B)は各組予約完了後の背景画像が重畠されている図、第10図はタイマの残量時間表示に関するブロック図、第11図は画面上に表示される予約内容を示す。第12図はタイマ終了時の報知音を発声するためのブロック図である。

1・表示出力制御回路、2・信号ミキシング回路、7・キャラクタジェネレータ、
8・表示データRAM、9・コントロール部、15・ノロディ発生器、
16・水平表示位置制御装置、
17・垂直表示位置制御装置

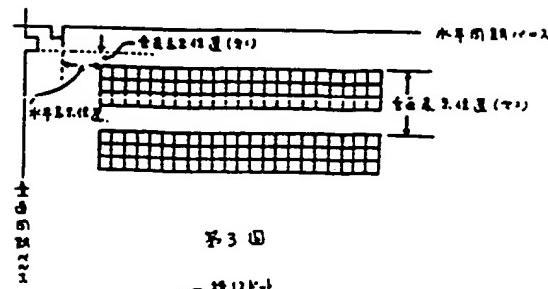
代理人 华理士 福士受居(他2名)



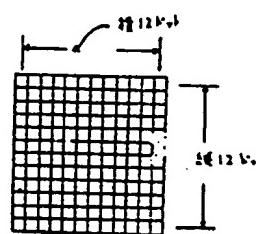
第一圖



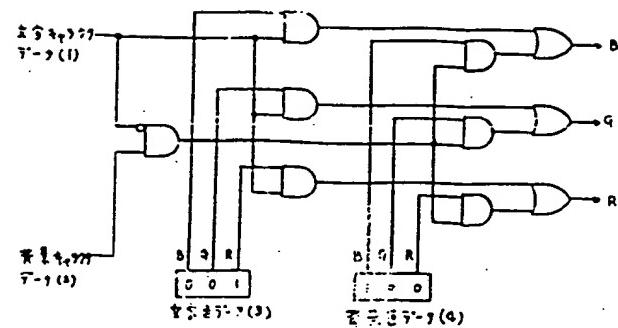
第2図



第3図



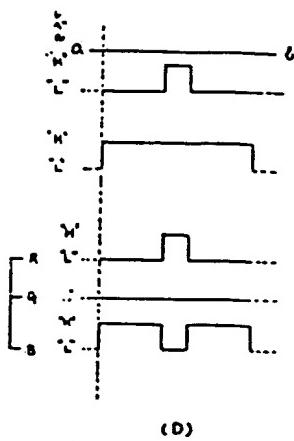
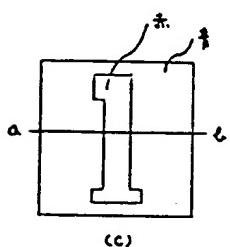
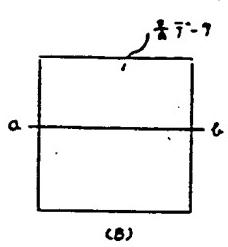
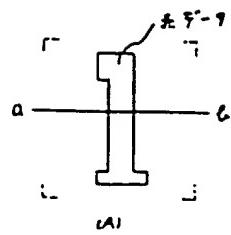
第4図



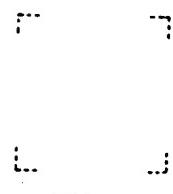
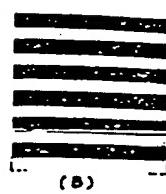
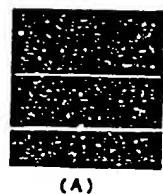
第5図

電極3.4	D ₁	D ₂	D ₃
電極3.5	0	0	0
R	0	0	1
G	0	1	0
G·R	0	1	1
B	1	0	0
B·R	1	0	1
B·G	1	1	0
B·G·R	1	1	1

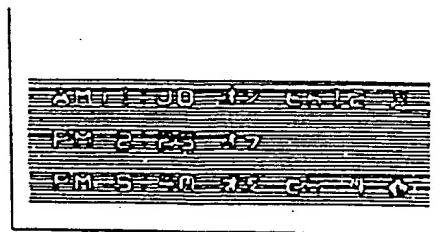
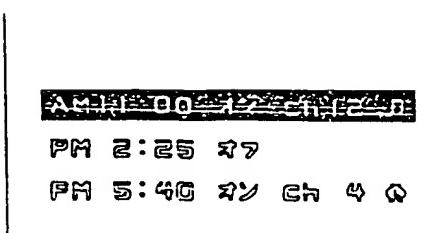
第6図



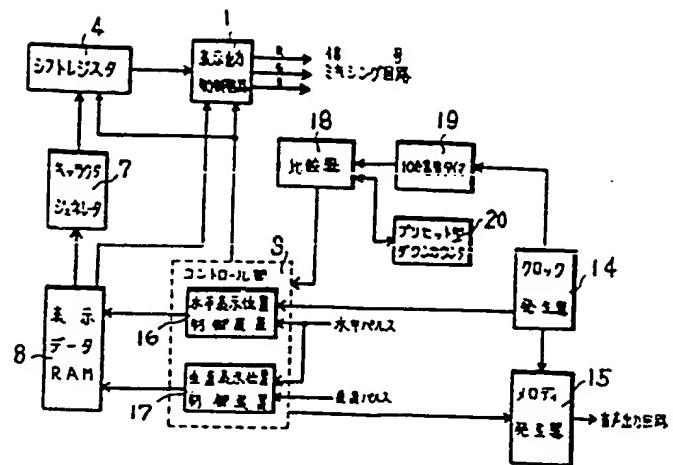
第7回



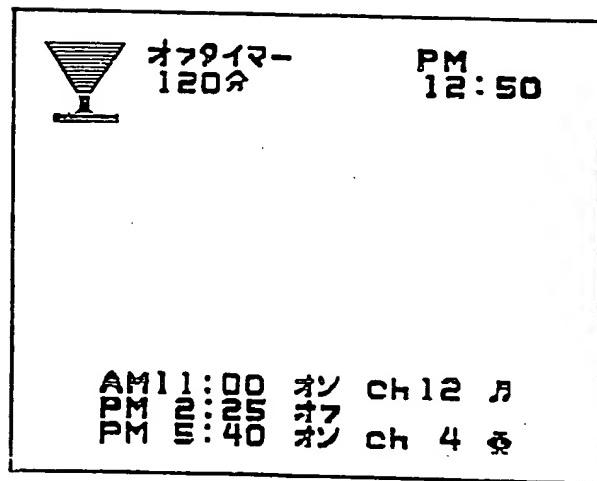
第8回



第9回



第10図



第11図

